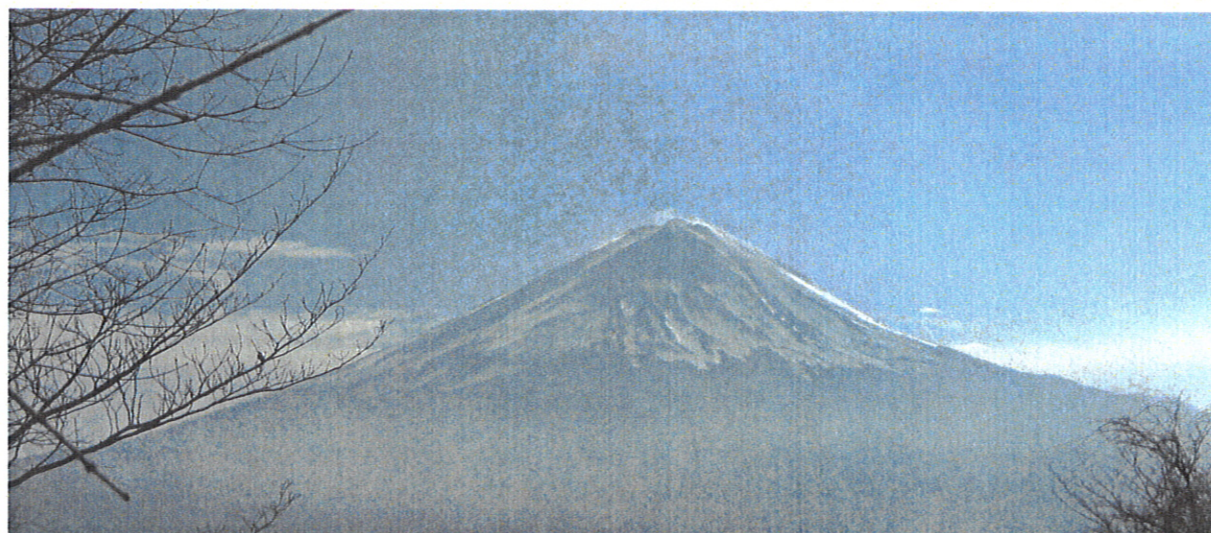


ほのりハフォーラム

新春号

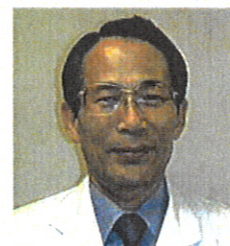
第8号

H19年1月1日



新春に当たって

東京都リハビリテーション病院
院長 林 泰史



新年おめでとうございます。

今年の正月は比較的暖かだったこともあり穏やかな新春を迎えられた先生方が多かったかと存じます。東京都リハビリテーション病院では165床の入院病床のうち119床の回復期リハビリテーションでも、46床の一般病床でもほぼ満床の入院患者さまのリハビリテーションに取り組み、また言語療法・心理療法など長期訓練の必要な患者さまに対しては外来訓練で取り組んでいます。このように、通常のリハビリテーション医療を行う以外に都立の病院として、また東京都医師会が管理運営する病院として当病院はプラスアルファの機能、すなわち地域にリハビリテーションの考え・実践を根づかせるといった使命も与えられています。そのため、2月14日(水)午後2時より、墨田区曳舟文化センターで墨田区と共催で、また東京都医師会・すみだ医師会の後援を得て転倒防止の講演・墨田区介護予防事業の紹介・家庭におけるリハビリテーションの方法などの講演会を行います。連携をいただいている先生方におかれましては、当病院の地域リハビリテーション支援に向けた取り組みにもご理解戴きたく存じます。先生方にとって今年も良い年でありますようご祈念申し上げ、新春の挨拶とさせていただきます。

東京都リハビリテーション病院運営理念

身体に障害を持たれた方が生きる喜びと希望を抱き、充実した人生をおくられるよう、医の原点に立った心温まる医療の推進をはかる。

盛況！ 第2回「地域医療連携の会」を開催！

平成17年度に引き続き、平成18年11月20日（月）に第2回「地域医療連携の会」を開催しました。今回は40機関、60名の方にご参加いただきました。

この「地域医療連携の会」は、当院の新しい体制の発足にあたり、当院の現状、診療科・入院方法の紹介などを通して、患者さまの受け入れや退院後の地域医療への円滑化を促進し、近隣地域医療関係者との連携を図ることを目的として、開催しています。

当日は当院3階大会議室で午後7時30分から、東京都済生会向島病院北原院長の講演「感染症医療における今日的課題」で始まりました。



午後8時から懇親会を行いました。その間、別会場では当院の紹介コーナーとして、リハビリテーション部、看護部、医療福祉連携室などのポスター展示やパンフレットの配布、防災訓練の様相などを職員のガイダンスをまじえて紹介しました。

懇親会も、当院診療部医師の自己紹介や、各参加者からの問題点の提起や現状などの一言スピーチをふまえて、和気あいあいのうちに終了しました。

また、19年度も開催予定ですので、是非お誘い合わせの上、ご来場賜りますようよろしくお願いいたします。

地域リハビリテーション連絡協議会（墨田区域）が発足しました

これまで約5年間継続していた「すみだ地域リハビリテーション連絡会」を発展的に解散して、新たに「地域リハビリテーション連絡協議会（墨田区域）」として再組織化したものです。連絡協議会の目的は、①地域リハビリテーション事業の推進、②保健・医療・福祉連携体制の充実です。

昨年11月9日に第1回の地域リハビリテーション連絡協議会幹事会を開催しました。連絡協議会の会長には、当院の林泰史院長が就任し、幹事に、すみだ医師会から2名、都立墨東病院リハビリテーション科、墨田区保健計画課、訪問看護ステーション連絡会、ケアマネージャー連絡会、ヘルパー事業者連絡会から各1名ずつを委嘱し、高石 潔 すみだ医師会地域医療委員会委員長を副会長に選任しました。また、東京都医師会内藤副会長、すみだ医師会鈴木会長に顧問に就任していただきました。

この協議会の大きな特徴は、医師会の協力のもと、医師、医療機関に、地域リハビリテーションの普及拡大、保健・医療・福祉連携体制の中核的な役割を担っていただくこととメンバーに加わっていただいたことです。また、今後、江東、江戸川区を含めた二次保健医療圏全体に活動を広げることを視野に入れて、オブザーバーとして江東区医師会から出席していただきました。さらに、連絡部員、会員などの構成・組織を明確化した要綱を整備しました。今回は、第1回目のお会合とあって、委嘱状の交付、これまでの経緯説明、区東部地域リハビリ支援事業の運営について意見交換の後、2月に区民公開講座を開催することを決定しました。

スクスク体操を広めよう!!

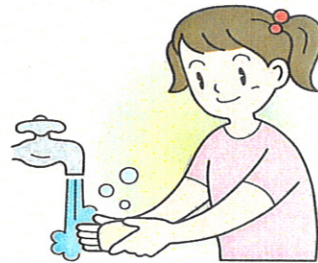
看護部

リハビリテーション訓練が終了した後の余暇の時間や、日曜・祭日などの訓練のない日に患者さまが主体的に参加してできる「スクスク体操」を行っています。この体操は看護師・PT・OTなど他スタッフと協同で考案した当院独自のオリジナリティーある体操です。看護師が中心となって音楽に合わせて行う「スクスク体操」は日常の訓練を継続させるだけではなく、患者さま同士のコミュニケーションを図る上でも、楽しみの一つになっています。退院後も自宅でこの「スクスク体操」が行われることを願っています。



ノロウイルスへの取組み

昨年末より猛威をふるったノロウイルスは、一人の人から集団への患者さまへの感染の危険があります。その予防として患者さまへの関わりが多い看護師が感染防止にとって重要な役割になります。院内感染委員が、職員、患者さま、ご面会の方にも手洗いとうがいを行なうようにポスターとマニュアルを作成し感染の拡大防止に努めました。今後も病院にとって感染防止対策は重要であり職員一人一人が意識をもち、患者さまへの感染が防止できるようにしていきます。



「はい、医療福祉相談です！」

医療福祉連携室 相談科

一日に対応する電話は数十本。6人いるワーカーの誰かが「初めてのご相談」に応えます。受話器の向こうの患者さまやご家族の心配を、少しでも軽くしたいと、神経を集中して話を聴き、答えています。リハビリテーションや専門医療についての知識、治療や訓練の道筋、介護や在宅療養支援、そして入院相談など、最近ではインターネットのホームページを見たところから全国から相談が来ます。もちろんご入院中の患者さまの退院準備や外来通院中の方の生活支援、就労や社会復帰の調整などにも院内を駆け回っています。病気や障害を持たれた方の生活と医療を結ぶのが医療ソーシャルワーカーの仕事です。



「生活の中でできるリハビリテーション」



日 時 平成19年2月14日(水)
午後2時から4時まで(1時30分開場)

会 場 墨田区 曳舟文化センター レクリエーションホール
住 所 墨田区京島1-38-11 TEL 03(3616)3951
東武線「曳舟」徒歩3分、京成線「曳舟」徒歩1分、
都バス「曳舟文化センター」下車

定 員 200名(先着) ※区民以外の方も歓迎

入 場 料 無料

講演内容

1 基調講演 **「転倒予防について」**

～骨折知らずで
生き生き過ごすために～

東京都リハビリテーション病院 院長 林 恭史



2 墨田区における **介護予防事業の紹介**

墨田区高齢者福祉課

3 実技講習 **体を動かそう!**

～健やかなところとからだのために～

(実技指導) 東京都リハビリテーション病院 理学療法士 相馬 正之

申込方法 2月1日～13日までに、電話又はFAXでお申し込みください。

電話：03(3616)8600 内線367,368 FAX：03(3616)8705

東京都リハビリテーション病院 医療福祉連携室

木邨(キムラ)、佐藤(お電話は土日祝日を除く9時から5時までをお願いします。)

- ◇ 主催：地域リハビリテーション連絡協議会・共催：墨田区
- ◇ 後援：東京都医師会・すみだ医師会